

日曹 **ストロビー**[®] ドライフロアブル
STOROBY

登録番号 第22018号
種類名 クレソキシムメチル水和剤
kresoxim-methyl
殺菌剤分類 11
性状 褐色水和性細粒および微粒
有効年限 4年

有効成分 クレソキシムメチル 50.0%
毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
包装 250g×40袋、500g×20袋

■特長

1. 有効成分クレソキシムメチルを含有し、従来の殺菌剤とは異なる作用機作を備えています。
2. りんご・なし等の黒星病菌に優れた効果を示し、かんきつ・ぶどうなど他の作物の重要な病害にも幅広い活性が認められています。
3. 予防効果が特に優れていますが、孢子形成阻害効果も示し二次感染を防ぎます。
4. ベーパーアクションの作用により、植物体に均一に拡散して葉表面のワックス層に吸着されるため、安定した効果を維持することができます。



最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用病害名及び使用方法

(2024年6月3日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤及びクレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法
かんきつ	そうか病、黒点病 灰色かび病 そばかす病	2,000～ 3,000	200～700	収穫14日 前まで	3回以内	散布
	褐色腐敗病、黄斑病	2,000				
りんご	黒点病、モニリア病 うどんこ病、黒星病	3,000				
	斑点落葉病、赤星病	1,500～ 3,000		収穫前日 まで		
	輪紋病、すす点病 すす斑病、褐斑病 炭疽病	2,000～ 3,000				
なし	輪紋病、黒斑病 うどんこ病	3,000				
	黒星病					
	炭疽病					
もネクタリン	黒星病、うどんこ病 灰星病、黒斑病 縮葉病(休眠期)	2,000				
うめ	うどんこ病 灰色かび病 環紋葉枯病	2,000～ 3,000	収穫7日 前まで			
	黒星病、すす斑病					
すもも	炭疽病 環紋葉枯病	2,000				
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	環紋葉枯病					

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤及びクレスキシムメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法	
ぶどう	黒とう病、べと病 枝膨病、晩腐病 灰色かび病、褐斑病	2,000～ 3,000	200～700	収穫14日 前まで	3回以内	散布	
	うどんこ病、さび病	3,000					
かき(葉)	うどんこ病、落葉病 炭疽病、灰色かび病			2,000～ 3,000			収穫前日 まで
	キウイフルーツ	貯蔵病害(灰色かび病) すす斑病					
あけび (果実)	うどんこ病	3,000		収穫7日 前まで			2回以内
ブルーベリー	斑点病 灰色かび病			収穫14日 前まで			
さんしょう (果実)	さび病	2,000		収穫前日 まで	3回以内		
マンゴー	炭疽病			収穫21日 前まで			
バナナ	黒星病	3,000		発病初期			
やなぎ	葉さび病						
せいようきんしばい	さび病						
ぼけ	赤星病、褐斑病						
じんちょうげ	黒点病						
ポプラ	マルゾニナ落葉病						

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
3. ボルドー液との混用はさけてください。
4. なしに使用する場合は、開花始めから落花30日頃までの散布においては、葉に薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
5. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
6. 開花期以降のおうとうには、薬害が生じるおそれがあるので、周辺にある場合にはかからないように注意してください。
7. ぶどうに使用する場合は次の事項に注意してください。
 - (1) ロザリオビアンコには葉に薬害を生じるので散布をさけてください。
 - (2) 巨峰及びデラウェアを除く品種には、新梢伸長期から開花直前までの散布は葉に薬害を生じる場合があるので注意してください。
 - (3) 落花20日以降袋かけ前までの散布は果粉溶脱や汚れを生じる場合があるので注意してください。
8. かきに使用する場合、西条の新梢伸長期の散布では、葉に薬害を生じる場合があるので注意してください。
9. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
10. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

11. 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。

12. 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物への影響：水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。